



## 「変革」を恐れず 困難な時代に社員一丸となり 明るい未来を創造してまいります

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
この度の新型コロナウイルス感染症拡大に関して、すべての皆様のご健康と一日も早い事態の収束を心から願っております。

代表取締役社長 **炭井孝志**

### Q 2020年度業績の振り返りをお聞かせください

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、大変厳しい1年となりました。いまだ収束が見通せず、事業活動にも大きな影響を与えています。

当社の2021年3月期業績は、連結売上高685億円、連結経常利益20億円、親会社株主に帰属する当期純利益14億円で、減収減益となりました。

売上面では、調味料・加工食品事業のセグメントにおきまして、外食向けを中心に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、サラダ・総菜類、タマゴ加工品、マヨネーズ・ドレッシング類の各商材で販売が減少いたしました。

連結子会社の総菜関連事業等のセグメントでは、量販店におけるフレッシュ総菜類に対する需要が堅調で、販売も順調に拡大いたしました。

利益面におきましては、全社を挙げて事業計画の見直しや固定費の圧縮等を進めてまいりました。

### Q 新中期経営計画について概要をお聞かせください

今年度からスタートしております新中期経営計画は、「KENKO Transformation Plan」と銘打ちました。

新型コロナウイルス感染症拡大をはじめ、昨今の急速に変化する環境に柔軟に対応すべく、企業体制を再構築いたします。そこで当社は下記を取り組むべき重要課題と認識しております。

- ウイズコロナ、アフターコロナへの対応
- 基盤事業の継続成長
- 未来につながる新たな事業の検討
- ESG、SDGsを意識したサステナブルな企業経営
- グローバル化への対応・推進
- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

これらの課題解決にチャレンジすべく、新中期経営計画「KENKO Transformation Plan」では、企業価値向上と持続的な成長・発展を目指してまいります。

生活様式の変化を新たな事業チャンスと捉え、今後は4つのテーマとサステナビリティ方針(下図参照)を軸に事業活動を進めてまいります。

特に持続可能な社会の実現は、全世界の共通目標です。当社も、環境・社会・健康に貢献し、持続可能な社会の実現と人々の健康・幸せに向け、しっかり貢献してまいりたいと考えております。

4つのテーマとサステナビリティ方針に基づく取り組みを着実に進め、2023年度には、連結売上高800億円、連結経常利益40億円を目指してまいります。

### Q 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします

株主の皆様にはいつもご支援を賜り、誠に感謝申し上げます。

先行きが不透明な中、市場環境がどのように変わろうとも、我々は社員一丸となり前進していく所存です。「KENKO Transformation Plan」の取り組みを進め、変革を推進し、ステークホルダーの皆様に対して明るい未来を創造してまいります。また、これまでのノウハウを軸に、次世代につながる新たな事業を検討してまいりますので、我々の挑戦へご期待いただければ幸いです。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 新中期経営計画

新中期経営計画 2021年度-2023年度

# KENKO Transformation Plan

～企業価値向上と持続的な成長へ向けた変革～

### 4つのテーマ

- 1 B to B to C
- 2 イノベーション
- 3 構造改革
- 4 グローバル

### サステナビリティ方針

- 環境 地球にやさしい企業へ
- 社会 ステークホルダーの幸せづくり
- 健康 心ころ・からだ・いのちを大切に

2023年度 業績目標

連結売上高 **800** 億円

連結経常利益 **40** 億円